BMW GROUP
Corporate Communications

2020 年 2 月 28 日

輸入二輪車ブランドとして初
電動スクーター「BMW C evolution」を警視庁に納入

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長: クリスチャン・ヴィードマン）は、BMW Motorrad 初の電動スクーター「BMW C evolution（シー・エヴォリューション）」を、警視庁に納入した。

BMW の先端技術を搭載し、普通自動二輪車として圧倒的な航続距離を誇る電動スクーターである BMW C evolution は、BMW i テクノロジーを搭載し、環境へ配慮したプレミアム・モデルでもあり、2017 年 5 月の販売開始以降、順調な販売台数を維持している。このたび輸入二輪車ブランドとして初めて、警察車両として採用された。

BMW C evolution は、BMW i テクノロジーで採用されている新世代大容量リチウムイオン・バッテリーを搭載し、航続距離が最大 160km の優れたパフォーマンスを実現する。これまでのマキシスクーターと比べて重心を低くしたことにより、快適なハンドリング性能を実現した。交通量の増加、エネルギー・コストの上昇、市街地での車両の CO_2 排出規制の厳格化が課題となっている中、BMW C evolution は、現在および将来のモビリティに求められるニーズに応えた次世代電動プレミアム・マキシスクーターである。

なお、納入された車両は、本年 3 月 1 日（日）に開催される東京マラソン 2020 での先導車両として初お披露目となる予定である。

本件に関する読者および視聴者からのお問合わせ先:
BMW カスタマー・インタラクション・センター
フリーダイヤル 0120-269-437
受付時間: 平日 9:00-18:00
BMW Motorrad ウェブサイト: https://www.bmw-motorrad.jp